



月刊 千葉労働

反対同盟は29年間実力で闘ってきた。これからも変わることなく闘いぬく!

10・9三里塚に、全国から四二〇〇名が結集!

一〇月九日、一二時より、三里塚芝山連合空港反対同盟主催による、「成田空港拡張工事絶対阻止、農地強奪粉碎、円卓会議粉碎、一〇・九全国総決起集会」が、全国から四二〇〇名が結集し、成田市南三里塚の反対同盟員所有の畑で開催された。

「実力闘争こそ勝利のカギ」

北原事務局長基調報告

集会は、まだ掘りおこされたさつまいもの香りが立ち上る中、冒頭に三浦五郎さんの「円卓会議では何も解決しない。われわれは断固闘いぬく」とうい力強い開会の言葉で始まった。

次に、基調報告にたった北原鎮治事務局長は、「滑走路は今までに一本、なぜ完成しないのか。全国の人民が『農民とともに闘う』を合い言葉に実力闘争で闘ったからだ。実力闘争こそ勝利をかちとることができる」と二九年間の闘いの勝利の核心を明らかにするとともに、成田からのルワンダ派兵を徹底的に弾劾した。

本部役員鈴木幸司さんの発

言の後、動労千葉を代表して滝口誠執行委員より「動労千葉は反対同盟と共に汗と血を流しながら闘ってきた。今後も全力で闘う。反動村山政権打倒へ船橋・中江、勝浦・水野の選挙闘争を闘う」と特別報告が行なわれた。

集会になると燃える三〇年前のようだ

敷地内・市東東市さん



写真は、開会のあいさつで、円卓会議を弾劾する三浦五郎さん

次に、参加者から拍手が沸き起る中、敷地内の市東東市さんが発言に立ち、「集会になると燃え上がる。三〇年前に選んだようだ。勝利へ邁進しよう」と意気軒高と訴え、続いて婦人行動隊・郡司とめさん、小川照子夫妻の発言の後、カンパ要請が行なわれた。

その後、葉山岳夫弁護団長、関西新空港闘争を闘う住民団体より永井満さん(淡路町反対期成同盟)、山本善偉さん(東灘区住民の会)、国賀祥司さん(泉州住民の会)の三氏、北富士忍草母の会・天野事務局長、反戦被爆者の会・大槻泰生さんが次々に発言した。

基地との共生・共存など絶対できない

沖繩・知花盛康さん

八七年沖繩国体での「日の丸」焼き捨てに決起した知花正一さんと共に裁判闘争を闘う知花盛康さんは「『宝珠山防衛施設庁長官の沖繩は基地と共生、共存すべき』という暴言は、絶対に許せない。基地撤去以外の謝罪はない」と沖繩の怒りを訴えた。

さらに、部落解放同盟全国連・瀬川委員長、婦人民主クラブ全国協名古屋支部、赤堀中央闘争委員会、寄せ場と三里塚を闘う労働者の会、都政を革新する会・長谷川英憲さん、三里塚木の根全国共闘、二期阻止全国共闘、学生の代表が発言し、円卓

会議の破産と勝利するまで闘いぬくことを改めて確認した。集会後、飛行機の騒音が響く中二・ニキロのデモを行い、二期工事阻止を訴えた。三〇年を迎えようとする三里塚の闘いに応え、労農連帯の絆をさらに強化して闘いぬこう。

「石川さんガンバレ」「再審貫徹」のシュプレヒコール響かせ千名がデモ

10・9千葉刑包囲闘争開催(千葉市本町公園)

一〇月九日、八時より、千葉市本町公園において、石川一雄氏激励の千葉刑務所包囲闘争が、部落解放同盟全国連合会の主催により開催された。

集会には、早朝にもかかわらず全国連に結集する部落大衆、労組交流センターの仲間たち、市民団体など一〇〇〇名が集まり、石川氏の無実での即時奪還・再審闘争貫徹に向けて闘いぬくことが改めて決意され、声を限りにシュプレヒコールをあげ、千葉刑務所へのデモ行進を行なった。

集会の中で小森糾弾闘争本部長から、「仮出獄」の情報が流布された直後の七月一九日、石川氏が国会議員にあてた手紙の中で「『仮出獄』はあくまで大衆闘争の産物であり、高裁再審請求がまさしく正念場となっています。再度労働者人民に呼びかけ、再審をかちとるべく闘いを強化していただきます」と訴えていることが明らかにされ、あくまで再審を貫徹し、無実・無罪での釈放をかちとるた



獄中の石川さん激励に結集した全国連、交流センターの仲間たち。反戦・反核を担う労働運動を、反合・連帯保安確立!